一辺の長さが 2 の立方体 C がある. S_0 を C の 6 つの面に内接する球とする. 次に S_0 に外接し,C の S_0 つの面と内接する球 S_1 を取る. S_1 に外接し, S_0 の S_0 つの面に内接する球 S_2 を S_1 の外側(S_0 と反対側)に取る. 以下帰納的に, S_0 ,..., S_n まで取れたとして, S_n に外接し, S_n の S_n のの面に内接する球 S_n の外側に取る.

- 1. S_n の半径を n の式で表せ.
- 2. 立方体 C の中でどの S_n $(n=0,1,2,\ldots)$ にも含まれない部分の体積を求めよ.

[解]

(1) fig. 1 のように,立方体の頂点 A, B, C, D, E, F, G, H に対し題意の 3 面を ABCD,AEFB,AEHD とする.各球の中心は立方体及び球の対称性から対角線 AG 上にある. S_n の中心を O_n ,半径を r_n とおく.断面 AEGC をfig. 2 に示す. $AC=2\sqrt{2},AE=2$ より, \angle GAC=|theta と置くと

$$\sin \theta = \frac{AE}{AG} = \frac{1}{\sqrt{3}} \tag{1}$$

$$\cos \theta = \frac{AC}{AG} = \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} \tag{2}$$

が成り立つことに注意する.

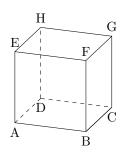


図1 立方体と頂点の定義

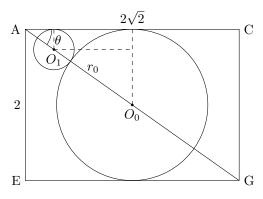


図2 断面 AEGC

半径 r_n に関する漸化式を導出することで r_n の一般項

を求める. 円 S_n と S_{n+1} に着目して fig. 3 を考える.

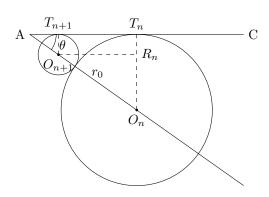


図 3 S_n と S_{n+1} の関係

 O_n から AC に引いた垂線と AC との交点を T_n と置く と、その定義より O_nT_n の長さは r_n に等しい。一方で、 O_{n+1} から O_nT_n に引いた垂線と O_nT_n の交点を R_n と置くと、

$$O_n T_n = O_{n+1} T_{n+1} + O_n R_n$$

= $O_{n+1} + O_n O_{n+1} \sin \theta$
= $r_{n+1} + (r_n + r_{n+1} \sin \theta)$

と表されるので、 r_n と r_{n+1} の関係は

$$r_n = r_{n+1} + (r_n + r_{n+1}\sin\theta)$$
 (3)

$$\therefore r_{n+1} = \frac{1 - \sin \theta}{1 + \sin \theta} r_n \tag{4}$$

となる. $r_0 = 1$ と合わせると、この等比級数の解は

$$r_n = \left(\frac{1 - \sin \theta}{1 + \sin \theta}\right)^n \tag{5}$$

$$= (2 - \sqrt{3})^n \tag{6}$$

となる. ただし, eq. (1) を用いた. ···(答)

(2) 立方体 C の中でどの S_k $(k=0,1,\ldots,n)$ にも含まれない部分の体積を V_n とする. 求めるべき値は $V=\lim_{n\to\infty}V_n$ である. S_k $(k=0,1,\cdots,n)$ 同士は互いに体積を共有することはないから,体積 V_n は立方体 C の

体積から、 $S_k \, (k=0,1,\cdots,n)$ の体積を減じたものに等しく、

$$V_n = 8 - \frac{4}{3}\pi \sum_{k=0}^n r_k^3$$

$$= 8 - \frac{4}{3}\pi \sum_{k=0}^n (2 - \sqrt{3})^{3k}$$

$$= 8 - \frac{4}{3}\pi \frac{1 - (2 - \sqrt{3})^{3(n+1)}}{1 - (2 - \sqrt{3})^3}$$

となる.

 $(2-\sqrt{3})^3 < 1$ だから求める体積 V として

$$V = \lim_{n \to \infty} V_n$$

$$= 8 - \frac{4}{3}\pi \frac{1}{1 - (2 - \sqrt{3})^3}$$

$$= 8 - \frac{6\sqrt{3} + 10}{15}\pi$$

$$= 8 - \frac{6\sqrt{3} + 10}{15}\pi$$

[解説]